

技術資料

許容電流	37
線心識別	40
材料データ	41
ケーブル使用上の注意事項.....	42
在庫表	45
電気設備技術基準における キャプタイヤケーブルの用途別選定基準	46
仕様確認書	47

許容電流

●許容電流

標準的なケーブルの許容電流は、下表により求めることができます。

周囲温度、多条布設、リール巻き、ケーブルの線心数など、ご使用条件が異なる場合は、補正係数で補正してください。

① 600V 2PNCT、3PNCT (低圧丸形キャブタイヤケーブル)

公称断面積 (mm ²)	許容電流 (A)				
	単心	2心	3心	4心	5心
0.75	19	15.5	13.5	12.5	11.5
1.25	25	21	18	16.5	15.5
2	32	27	23	21	19
3.5	47	39	33	30	28
5.5	62	51	44	40	37
8	77	63	54	49	46
14	109	89	76	69	64
22	149	121	103	93	86
30	180	145	123	111	103
38	209	166	142	128	118
50	245	194	165	149	140
60	281	221	188	171	161
80	340	268	231	211	198
100	393	311	269	244	229
125	449	—	306	—	—
150	493	—	338	—	—
200	592	—	411	—	—
250	675	—	469	—	—

※ケーブル構造は、SP31-90019A (JISC3327) によるものです。

※周囲温度30℃、導体最高許容温度80℃、空中1条布設の場合の値です。

※6心以上の場合は、上記単心ケーブルの許容電流に、多心ケーブルの補正係数を乗じて算出できます。

※リール巻きの場合は、リール巻きの補正係数を乗じて算出ください。

② 3300V、6600V 3PNCT (高圧丸形キャブタイヤケーブル)

公称断面積 (mm ²)	許容電流 (A)	
	単心	3心
14	114	80
22	150	105
30	179	126
38	205	146
50	239	171
60	273	195
80	327	235
100	375	271
125	427	308
150	464	336
200	567	—
250	649	—

※ケーブル構造は、当社仕様によるものです。

※周囲温度30℃、導体最高許容温度80℃、空中1条布設の場合の値です。

※リール巻きの場合は、リール巻きの補正係数を乗じて算出ください。

③ 600V H-2PNCT, 600V H-3PNCT, 3300V H-3PNCT, 6600V H-3PNCT
(平形キャブタイヤケーブル)

公称断面積 (mm ²)	許容電流 (A)
	3心、4心
14	62
22	83
30	99
38	114
50	133
60	151
80	181
100	208
125	238
150	259
200	315
250	360

※ケーブル構造は、当社仕様によるものです。

※周囲温度30℃、導体最高許容温度80℃の場合の値です。

※周囲温度が異なる場合は、周囲温度が異なる場合の補正係数を乗じて算出ください。

※許容電流は、1列多段でリールに巻いた場合です。

許容電流

●許容電流の補正係数

①多心ケーブルの補正係数

線心数	4	5	6	7	8	9	10	11	12
補正係数	0.65	0.59	0.55	0.51	0.49	0.46	0.44	0.43	0.42

線心数	13	14	15	16	17	18	19	20	21
補正係数	0.41	0.40	0.39	0.38	0.37	0.36	0.36	0.35	0.34

線心数	22	23	24	25	26	27	28	29	30
補正係数	0.33	0.33	0.32	0.32	0.31	0.30	0.30	0.29	0.29

②周囲温度が異なる場合の補正係数 (k)

周囲温度 (°C)		20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70
補正係数	PNCT	1.10	1.05	1.00	0.95	0.89	0.84	0.77	0.71	0.63	0.55	0.45
	VCT	1.16	1.09	1.00	0.91	0.82	0.71	0.58	0.41	—	—	—

$$k = \sqrt{\frac{\text{定格温度} - \text{使用周囲温度}}{\text{定格温度} - \text{既知の許容電流の周囲温度}}}$$

③リール巻の補正係数

ケーブルタイプ	平型	丸型							
巻段数	1列多段	1列多段	1	2	3	4	5	8	10
補正係数	0.70	0.85	0.85	0.65	0.45	0.35	0.31	0.28	0.26

④氣中に多数のケーブルを布設する場合の補正係数

(1) 1~12条

条数	1	2	3	6	4	6	8	9	12
配列									
S=d	1.00	0.85	0.80	0.70	0.70	0.60	—	—	—
S=2d		0.95	0.95	0.90	0.90	0.90	0.85	0.80	0.80
S=3d		1.00	1.00	0.95	0.95	0.95	0.90	0.85	0.85

S : ケーブル中心間隔 d : ケーブル外径 ※日本電線工業会規格 JCS 0168-1「33kV以下電力ケーブルの許容電流計算 第一部」より抜粋

(2) 上表以外の場合

中心配列 間隔	段 (n) 列 (m)	1		2					3										
		7~20	4	5	6	7	8~20	3	4	5	6	7	8	9~10	11~12	13~15	16~19	20	
S = d		0.70	0.60	0.56	0.53	0.51	0.50	0.48	0.41	0.37	0.34	0.32	0.31	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30
S = 2d		0.80	—	0.73	0.72	0.71	0.70	—	—	0.68	0.66	0.65	0.65	0.64	0.63	0.62	0.61	0.60	0.60

S : ケーブル中心間隔 d : ケーブル外径 ※日本電線工業会規格 JCS 0168-1「33kV以下電力ケーブルの許容電流計算 第一部」より抜粋

●短絡時の許容電流

ケーブルの短絡時の許容電流は近似的に次式で与えられます。

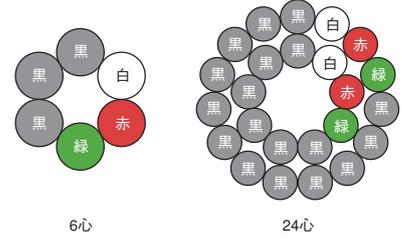
$$\text{短絡時許容電流} = \frac{K \times S}{\sqrt{T}}$$

K : 定数 (銅導体+EPゴム絶縁体: 139) (銅導体+PVC絶縁体: 95)
 S : 導体の断面積 (mm²)
 T : 短絡電流の持続時間 (sec)

線心識別

●着色・トレーサ方式

- 撚合せ層の識別には「黒、白、赤、緑」の4色を使用します。
- 撚合せ層の線心数が5心以上の場合、線心の識別は「黒、白、赤、緑、黒…黒」となり、線心のそれぞれの配置により識別します。
- 線心番号の詳細は下表を参照ください。



線心数	層	本数															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
2	第1層	黒	白														
3	第1層	黒	白	赤													
4	第1層	黒	白	赤	緑												
5	第1層	黒	白	赤	緑	黒											
6	第1層	黒	白	赤	緑	黒	黒										
7	第1層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒									
8	第1層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒								
9	第1層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒	黒							
10	第1層	黒	白														
	第2層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒								
12	第1層	黒	白	赤													
	第2層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒	黒							
16	第1層	黒	白	赤	緑	黒											
	第2層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒					
20	第1層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒									
	第2層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒			
24	第1層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒	黒							
	第2層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	
30	第1層	黒	白	赤	緑												
	第2層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒	黒	黒						
	第3層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒

キャリア方式用キャブタイヤケーブル (600V CAR-2PNCT)

一般ケーブルと10心、30心の場合の配列が異なります。

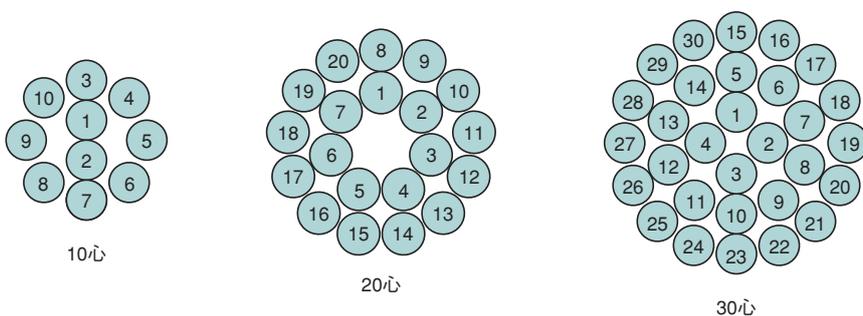
線心数	層	本数															
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
10	第1層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒	黒	黒						
30	第1層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒				
	第2層	黒	白	赤	緑	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒	黒

* 600V CAR-2PNCT-SX の配列は、20ページをご参照ください。

●ナンバリング方式

主に、ビニルやポリエチレンなどの多心物のプラスチック線に適用されます。

●識別図



材料データ

●各種材料の一般特性

各種材料の一般特性を表1に示します。

項目		種類	ビニル	エチレン プロピレン ゴム	エチレン・ 四ふっ化 エチレン	クロロプレン ゴム	フロンレックス
		略号	PVC	EPR	ETFE	CR	—
比重			1.25~1.40	0.86	1.7	1.15~1.23	1.7
電気特性	絶縁破壊電圧 (kV/mm)		20~35	37~48	20~35	15~25	20~30
	体積抵抗率 ($\Omega \cdot \text{cm}$)		$10^{12} \sim 15$	10^{16}	$>10^{16}$	$10^7 \sim 12$	10^{16}
	誘電率		6~8	3	2.6	7~10	3.8
	誘電正接 (%)		4~12	5以下	0.2	15以下	—
機械的特性	引張強さ (MPa)		15~25	8.8~15	59~69	~20	7.8~18
	伸び (%)		100~400	200~1,000	200~300	300~1,000	350
	耐摩耗性		—	良	—	優	優
難燃性			極良	不可*1	優	優	優
耐熱性 (最高許容温度)			60℃	80℃	150℃	75℃	200℃
耐寒性 (脆化温度)			-15℃	-50℃	-100℃	-35℃*2	-55℃
耐候性			優	優	優	優	優
耐オゾン性			優	極優	優	良	優
耐油性			良	不可	極優	良	優
耐水性			良	良	優	可	優

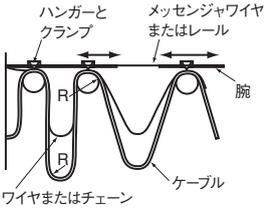
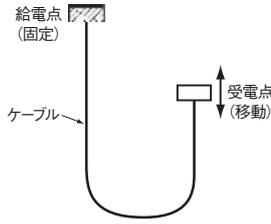
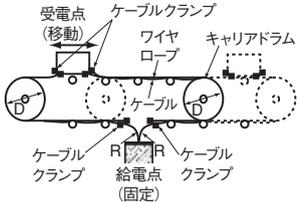
材料は、配合により特性が変わるので代表例を示します。

* 1 難燃性を付与した特殊配合も可能です。

* 2 移動用の場合、-20℃以上でご使用になることをお奨めします。

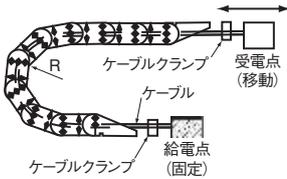
耐寒性 (脆化温度) を改善した特殊配合も可能です。

ケーブル使用上の注意事項

使用方式	注意事項												
<p>1. カーテン方式用</p> 	<p>(1) ケーブルの許容曲げ半径 (R) は次のとおりとしてください。 ただし、個別の仕様書に指定がある場合には、その値を優先ください。</p> <table border="1" data-bbox="507 427 1195 539"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>低圧ケーブル</th> <th>高圧ケーブル</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丸形ケーブル</td> <td>$R \geq 6d$</td> <td>$R \geq 8d$</td> <td>d : ケーブル外径</td> </tr> <tr> <td>平形ケーブル</td> <td>$R \geq 6d$</td> <td>$R \geq 8d$</td> <td>d : ケーブル外径</td> </tr> </tbody> </table> <p>仕舞い時のケーブル曲げ半径を確保するため、ハンガーには腕を設けてください。</p> <p>(2) ケーブルハンガー間（第一番目のハンガーは構造物との間）はワイヤロープあるいはチェーンで連結してテンションメンバーとし、ケーブルに張力を掛けないようにしてください。 (ワイヤロープまたはチェーンの長さはケーブルの長さの0.9倍以下としてください。)</p> <p>(3) ケーブルハンガーは自由に回転できないよう固定してください。</p> <p>(4) ケーブルがねじられたまま引き出さないでください。</p> <p>(5) 多条布設するときは、ケーブルがフラット状になるように一括でしっかりとクランプしてください。</p> <p>(6) ケーブルの端末の固定部も、ケーブルが移動したときに、曲げや引っ張りのストレスが集中しないように、ドラムやハンガーなどを利用し、曲げ半径を大きく取って布設ください。</p> <p>(7) スパイラル状につる場合はハンガーが回転するようにする必要があります。この場合ケーブルを引き出すとケーブルにねじれが加わります。ケーブルの捻回方向は、ケーブル線心のよりが締まる方向にしてください。ケーブルのねじれ角は最大 $70^\circ/\text{m}$（推奨値 $35^\circ/\text{m}$）以下としてください。</p>	種類	低圧ケーブル	高圧ケーブル	備考	丸形ケーブル	$R \geq 6d$	$R \geq 8d$	d : ケーブル外径	平形ケーブル	$R \geq 6d$	$R \geq 8d$	d : ケーブル外径
種類	低圧ケーブル	高圧ケーブル	備考										
丸形ケーブル	$R \geq 6d$	$R \geq 8d$	d : ケーブル外径										
平形ケーブル	$R \geq 6d$	$R \geq 8d$	d : ケーブル外径										
<p>2. エレベータ方式用</p> 	<p>(1) ケーブルの捻れ癖を取ってから取り付けてください。</p> <p>(2) 吊り間隔はケーブル外径の12倍以上とってください。(低圧ケーブル)</p> <p>(3) 多本つりのときは相互の干渉に注意してください。</p> <p>(4) 同一場所に、複数のケーブルを布設する場合はそれぞれのループの高さを変えてステップ懸架をすることを推奨します。</p> <p>(5) 端末固定部から、ケーブルが屈曲する部分までの直線距離は、できるだけ長く確保してください。 (ケーブル外径の20倍以上が目安)</p> <p>(6) カウンタウエイトをつける場合は、ケーブルがしごかれうねり、ひいては断線にいたることがあります。ケーブルの選定はご相談ください。</p> <p>(7) ストローク長さ、頻度、速さなどのご使用条件が厳しい場合はご相談ください。</p> <p>(8) 正規のエレベータに使用する場合、専用のエレベータケーブルをご使用ください。</p>												
<p>3. キャリア方式用</p> 	<p>(1) ケーブルの許容曲げ半径 (R) は次のとおりとしてください。 ただし、個別の仕様書に指定がある場合には、その値を優先ください。</p> <table border="1" data-bbox="507 1525 1195 1599"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>低圧ケーブル</th> <th>高圧ケーブル</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丸形ケーブル</td> <td>$R \geq 6d$</td> <td>$R \geq 8d$</td> <td>d : ケーブル外径</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 布設時、ケーブルにはねじれが入らないよう、布設してください。</p> <p>(3) キャリアドラムの移動はワイヤロープで行い、ケーブルのたるみを十分とって張力がかからないようにしてください。</p> <p>(4) 給電点、受電点でのケーブル固定は、内部線心が移動しないように確実に固定してください。 幅（ケーブルとの接触長さ）100mm以上の半割型クランプで締めつけることを推奨します。 ケーブル変形率は、低圧ケーブルで約15%、高圧の場合は約5%を目安とってください。クランプが不完全ですとケーブルのうねり、挫屈の原因となりひいては断線に至ることがあります。</p>	種類	低圧ケーブル	高圧ケーブル	備考	丸形ケーブル	$R \geq 6d$	$R \geq 8d$	d : ケーブル外径				
種類	低圧ケーブル	高圧ケーブル	備考										
丸形ケーブル	$R \geq 6d$	$R \geq 8d$	d : ケーブル外径										

4. ケーブルチェーン方式 (25心以上) 含め

使用方式



注意事項

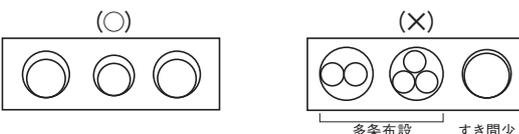
(1) ケーブルの許容曲げ半径 (R) は次のとおりとしてください。
ただし、個別の仕様書に指定がある場合には、その値を優先ください。

種類	低圧ケーブル	高圧ケーブル	備考
丸形ケーブル	$R \geq 6d$	$R \geq 8d$	d: ケーブル外径

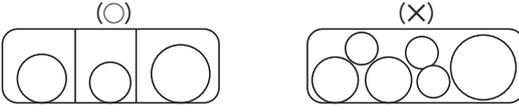
(2) ケーブルチェーンは、ケーブルチェーンの中心とケーブルの中心が一致するようにサポートする方式のものを推奨します。この場合サポート (クリート) の穴径は、ケーブルがルーズに動くよう大きくし、クリアランスを大きく取り、ケーブルチェーンが屈曲した場合でもケーブルに無理な曲げや力が加わらないようにしてください。

クリアランスの目安: ケーブル最大外径の 10%以上 (最小 2mm)

(3) サポートの一つの穴には一本のケーブルを通すこと (1 条 1 穴) とし、多条布設しないでください。



(4) ボックス型のガイドを使用するときは、ボックス内でケーブルが上下に重ならないようにしてください。必要に応じて仕切り板でケーブル同士の干渉を防いでください。

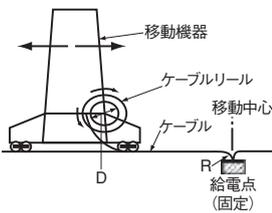


(5) 給電点、受電点でのケーブル固定は、内部線心が移動しないように確実に固定してください。幅 (ケーブルとの接触長さ) 100mm 以上の半割型クランプで締めつけることを推奨します。ケーブル変形率は、低圧ケーブルで約 15%、高圧の場合は約 5% を目安としてください。クランプが不完全ですとケーブルのうねり、挫屈の原因となりひいては断線に至ることがあります。

(6) 端末固定部からケーブルが屈曲する部分までの直線距離は、できるだけ長く確保してください。(ケーブル外径の 20 倍以上が目安)

5. リール巻 (拾い巻) 方式

使用方式



注意事項

(1) ケーブルの許容曲げ半径 (R) は次のとおりとしてください。
ただし、個別の仕様書に指定がある場合には、その値を優先ください。

種類	低圧ケーブル	高圧ケーブル	備考
丸形ケーブル	$R \geq 10d$	$R \geq 15d$	d: ケーブル外径
平形ケーブル	$R \geq 12d$	$R \geq 16d$	d: ケーブル外径

(2) ケーブルに加わる常時および瞬時の張力は、ケーブルの許容張力以下としてください。

(3) ケーブルにかかる側圧は次のとおりとしてください。
ただし、個別の仕様書に指定がある場合には、その値を優先ください。

品種	側圧 (張力 / 屈曲半径)
2PNCT (シースに補強層が無いもの)	2.9 k N/m (300kgf/m) 以下
3PNCT, 4PNCT (シースに補強層があるもの)	4.9 k N/m (500kgf/m) 以下

(4) ケーブルをねじったまま巻き取らないでください。

(5) ケーブルリールに丸形ケーブルを多列巻きする場合は、ケーブルが整列巻きできるように、トラバサ機構を設けることを推奨します。ケーブルが乱巻きされやすくとケーブルにねじれが加わる原因になります。

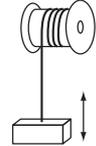
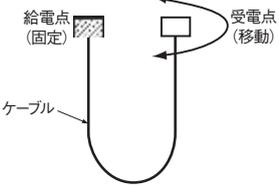
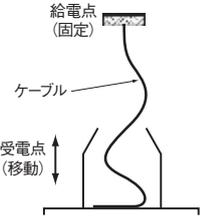
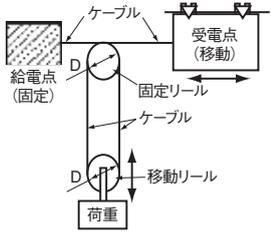
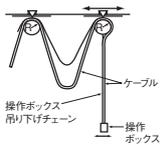
(6) 巻き取りリールのケーブルガイドローラーを施す場合は、許容曲げ半径を確保してください。

(7) ケーブルの延線路 (走行路) はできるだけ直線方向のみとし、ケーブルが直線方向からずれた状態で使用されることのないようにしてください。
直線からずれた状態で巻き取り巻き戻しを行いますとケーブルにねじれが加わる原因になります。

(8) リースシステム (リール、ガイドロール、サイドロール、ピット等) の位置関係にズレが無いようにご使用ください。特に平形ケーブル使用の際は短径方向に側圧やしごき加わらないように使用してください。

(9) ケーブル終端固定部の引き止めクランプは、引き止めドラムに 1 ターン以上巻き付けるか、クランプの間に鞍を挟みケーブルをスネーク状にして、2か所で締めつけし、初期の把持力をケーブルに加わる最大張力の 2 倍以上としてください。引き止めが不完全ですとケーブルのうねり、挫屈の原因となります。

ケーブル使用上の注意事項

使用方式	注意事項
<p>6. 垂直リール巻方式</p> 	<p>(1) 5. の拾い巻き方式の注意事項を守ってください。</p> <p>(2) 巻き取り時に、ケーブル自重がかかり、ケーブル同士の摩擦により、ケーブルがねじられることがあります。その場合はケーブル表面にグリースなどの滑材を塗布し、捻回を防いでください。</p> <p>(3) 揚程、スピード、張力など条件が厳しい場合は、通常の RE-2PNCT、RE-3PNCT ではうねって断線に至ることがあります。条件が厳しい場合はご相談ください。</p>
<p>7. 捻回(旋回)方式</p> 	<p>(1) 曲げ半径はケーブル外径の 6 倍以上としてください。(低圧ケーブル)</p> <p>(2) ケーブルは極力長くとり、単位長さあたりの捻回角ができるだけ小さくなるように布設ください。(捻回角は± 70°/m 以下としてください。推奨値は± 35°/m 以下)</p> <p>(3) 多本吊りのときは相互の干渉に注意してください。また、途中で束ねてインシュロックタイプなどで固定しないでください。</p> <p>(4) ケーブル固定部に捻回のストレスが集中しないように、直線部分を長くとか固定部に曲げ半径を大きくとって布設ください。</p> <p>(5) ケーブルが捻回すると、ケーブル長さが変動します。十分な弛みを確認ください。</p> <p>(6) 捻回条件が厳しい場合や単心およびシールド付きの仕様については、ご相談ください。</p>
<p>8. バスケット(スプレッド)方式</p> 	<p>(1) ケーブルがコイルしている状態から、引き上げるとケーブルにねじれが加わります。引き上げた際、ケーブル線心のよりが閉まる方向に布設ください。(右よりのケーブルは、右巻きに収納ください。)</p> <p>(2) ケーブルのコイル径は極力大きくとってください。(ケーブル外径の 20 倍以上としてください。)</p> <p>(3) バスケットの形状、揚程、速さなどによってケーブル選定が異なります。ご相談ください。</p> <p>(4) バスケット内には、高いコーンなど、ケーブルのコイルの妨げとなるようなものを設けないでください。コイルの方向が反転しケーブルトラブルを起こす原因となります。</p> <p>(5) ケーブルは使用時に、ケーブルのよりが下に溜まるため、初期に収納したときよりも、バスケットが下の方では小さなループ径になり、上の方では大きなループ径に変化してコイルします。ケーブル布設の際は、この変化分を考慮してご使用ください。</p>
<p>9. ダンサロール方式</p> 	<p>(1) リール径 (D) $\geq 20d$ としてください。(d : ケーブル外径)</p> <p>(2) リールは円滑に回転するようにしてください。</p> <p>(3) 移動リール重量および荷重は、ケーブルがたるまない程度にできるだけ軽くして、ケーブルに加わる張力を小さくするようにしてください。</p> <p>(4) ケーブル終端固定部の引止めクランプは、クランプの間に鞍を挟みケーブルをスネーク状にして、2 か所で締めつけし、初期の把持力をケーブルに加わる最大張力の 2 倍以上としてください。</p> <p>(5) ケーブルには、張力・曲げ・しごきが同時に加わるため、使用頻度の多いところには適さないので、注意ください。</p>
<p>10. ペンダント(吊り下げ)方式</p> 	<p>(1) 操作ボタンには、操作ボタン吊り下げ用チェーンを取り付け、ケーブルに張力が加わらないようにしてください。</p> <p>(2) 操作ボタンへの取り付け部分には、保護を施しケーブルに局部曲げが加わらないようにしてください。</p>
<p>11. その他の共通注意事項</p> <p>(1) 安全のため、表紙裏の「安全に関するご注意」は、遵守ください。</p> <p>(2) キャプタイヤケーブルに使用するシース(外装)は機械的強度を優先させるため、シースの絶縁抵抗は低めですのでご注意ください。</p> <p>(3) 線心または対にシールド(静電)がある場合、シールド間の絶縁抵抗は通常考慮しておりません。絶縁抵抗が必要な場合はあらかじめお申し付けください。</p> <p>(4) シールド(静電)は片端接地としてください。両端接地とすると暗電流によるノイズを拾うことがあります。また、接地を取る場所(端末)は、実際に試してみて効果の大きい側の端末で接地することを推奨します。</p> <p>(5) 低温ではケーブルが硬くなる場合があります。冷凍倉庫など常時低温でご使用になる場合は、ご相談ください。</p> <p>(6) シース材のクロロプレンゴムは、長期水没して使う場合は吸水し膨潤することがあります。やむを得ず水没してご使用になる場合は、端末の完全な遮水と漏電防止対策を実施ください。</p> <p>(7) ケーブルの線心には、ケーブル内での線心の動きをよくするために滑材を塗布していることがあります。表面のリークを防ぐために、端末処理は絶縁体表面をアルコールなどで清浄してからご使用ください。</p> <p>(8) ケーブルを 8 の字取りする場合は、ループをできるだけ大きくとってください。8 の字からケーブルを引き出す場合は、ループが小さくならないようにご注意ください。ケーブルがねじられ挫屈する原因となります。</p> <p>(9) 寒冷期はケーブルが硬くなり、ドラムやタバの巻き癖が残ることがあります。その場合は一度室内で温めてからご使用ください。</p> <p>(10) 木製クリートのクレオソート(防腐剤)処理は、クロロプレンゴムおよびビニルに悪影響がありますので避けてください。</p> <p>(11) 黒以外の EP ゴムは、日光や紫外線により変色することがありますので、PNCT の線心の絶縁体を露出しないように、遮光してお使いください。</p> <p>(12) 光ファイバコードおよび光コネクタの取り扱いには、慎重をお願いします。(ねじれ、引っ張り、極端な曲げは厳禁です。)</p> <p>(13) ケーブル内に粉状の滑材を入れている場合があります。取扱い時は、発塵に注意して、必要に応じ手袋、マスク等の保護具を着用してください。また付着した場合は、作業後よく洗い流してください。</p> <p>(14) 高圧(3300V 以上)キャプタイヤケーブルの端末処理の際、外部半導電層のテープを剥ぎ取り後、EP ゴム絶縁体上にテープの導電性物質が残る場合がありますので、サンドペーパーなどで完全に除去してください。</p>	

在庫表

① 600V 2PNCT (2種 EP ゴム絶縁 クロロプレンキャブタイヤケーブル)

(1) 屈曲・カーテン用

品名		600V 2PNCT, 600V CUR-2PNCT (シールド無しタイプ)													
サイズ	線心数	1	2	3	4	5	6	7	8	10	12	16	20	24	30
0.75 mm ²			●	●	●	●	●			●	●		●		
1.25 mm ²			●	●	●	●	●		●	●	●	●	●		●
2 mm ²			●	●*	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
3.5 mm ²			●	●*	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●
5.5 mm ²			●	●	●		●								
8 mm ²		●	●	●	●		●								
14 mm ²		●	●	●	●										
22 mm ²		●	●	●	●										
30 mm ²				●	●										
38 mm ²		●	●	●	●										
50 mm ²															
60 mm ²		●		●	●										
100 mm ²		●		●											
150 mm ²		●													

* : 3 × 2mm² ~ 14mm²については、黒、白、緑の線心識別も在庫しています。(品名略号: 600V 2PNCT (G)、規格: SP31-90041)

品名		600V 2PNCT-SB, 600V CUR-2PNCT-SB (一括シールドタイプ)													
サイズ	線心数	1	2	3	4	5	6	7	8	10	12	16	20	24	30
1.25 mm ²				●		●	●								
2 mm ²			●	●	●	●	●			●			●		●

(2) キャリアドラム用

品名		600V CAR-2PNCT													
サイズ	線心数	1	2	3	4	5	6	7	8	10	12	16	20	24	30
3.5 mm ²							●			●	●	●	●	●	●
5.5 mm ²															
8 mm ²				●			●								
14 mm ²				●			●								
22 mm ²				●			●								
30 mm ²				●											
38 mm ²				●											
60 mm ²				●											

② 600V FFCT (200°C耐熱フロフレックスフレキシブルケーブル)

品名	線心数	シールド無しタイプ						一括シールドタイプ				
		600V FFCT 600V FFCTB **						600V FFCT-SB 600V FFCTB-SB **				
サイズ	線心数	2	3	4	6	10	20	2	3	4	6	10
1.25 mm ²		●										
2 mm ²		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
3.5 mm ²		●	●	●								

** : ガラステープ+ステンレス編組付きは納期が2週間必要です。

【注】在庫品種について、予告なしに変更することがありますのでご了承願います。

電気設備技術基準における キャブタイヤケーブルの用途別選定基準

用途			クロロブレンキャブ タイヤケーブル			高圧用クロロブレン キャブタイヤケーブル		備考		
			2種	3種	4種	2種	3種			
電 球 線	屋内	300V以下	●	●	●			0.75mm ² 以上	第170条	
	屋側	300V以下	●	●	●			0.75mm ² 以上	第170条	
	屋外	300V以下	●	●	●			0.75mm ² 以上	第170条	
	トンネル等	300V以下	●	●	●			0.75mm ² 以上	第179条	
	ならく	300V以下	●	●	●				第172条	
移 動 電 線	屋内	300V以下	●	●	●			0.75mm ² 以上	第171条	
		600V以下	●	●	●			0.75mm ² 以上	第171条	
		7,000V以下	×	×	×	×	●		第171条	
	屋側、屋外	600V以下	●	●	●			0.75mm ² 以上	第171条	
		7,000V以下	×	×	×	×	●		第171条	
	トンネル、坑道等	300V以下	●	●	●				第179条	
		600V以下	●	●	●			0.75mm ² 以上	第179条	
		7,000V以下	×	×	×	×	●		第179条	
	粉じんの 多い場所	爆燃性・火薬類	600V以下	×	●	●			接続点のないこと	第175条
		可燃性	600V以下	●	●	●			接続点のないこと	第175条
	可燃性ガス等の存在する場所		600V以下	×	●	●			接続点のないこと	第176条
	燃えやすい危険な物質の存在する場所		600V以下	●	●	●			接続点のないこと	第177条
	舞台、ならく、オーケストラボックスその他、 人または舞台道具が触れるおそれのある場所		300V以下	●	●	●				第172条
	ボーダーライトに附属するもの		300V以下	●	●	●				第172条
	水中照明灯		150V以下	●	●	●			接続点のないこと 2mm ² 以上、多心	第187条
	水中またはこれに準ずる場所の照明灯 で、人が立ち入るおそれがない場合		150V以下	●	●	●			接続点のないこと 0.75mm ² 以上	第187条
	アーク 溶接装置	変圧器から溶接電極に至る分	300V以下	●	●	●				第190条
変圧器から溶接機に至る部分		300V以下	●	●	●				第190条	
小勢力回路		60V以下	●	●	●				第181条	
出退表示灯回路		60V以下	●	●	●				第182条	
配 線	屋 内	展開した場所または 点検できるいんべい場所	300V以下	●	●	●			第156条	
			600V以下	×	●	●				
		上記以外の場所	600V以下	×	●	●				
	屋 側 屋 外	展開した場所または 点検できるいんべい場所	300V以下	●	●	●			第166条	
			600V以下	×	●	●				
		上記以外の場所	600V以下	×	●	●				
	人が通行する トンネル	展開した場所または 点検できるいんべい場所	300V以下	●	●	●			第179条	
			600V以下	×	●	●				
		上記以外の場所	600V以下	×	●	●				
	鉱山 その他坑道	展開した場所または 点検できるいんべい場所	300V以下	●	●	●			第179条	
			600V以下	×	●	●				
		上記以外の場所	600V以下	×	●	●				

凡例 ●：使用可 ×：使用不可

仕様確認書

ご満足いただける製品を提供するために下記の情報を確認のうえ、ご連絡ください。

No.	項目	内容		
1	品名略号			
2	形状、種別	・丸型		
		・平型		
3	電圧	・2種		
		・3種		
3	電圧	・600 V ・3300 V ・6600 V ・() V		
4	線心数×サイズ (複数、対の場合も指示ください)			
5	遮へい	(1) 有/無		
		・有		
		・無		
5	(2) 材質	・銅編組		
		・半導電性ゴム		
5	(3) 方法	・()		
		・各心		
5	(3) 方法	・一括		
		・各対		
5	(3) 方法	・()		
		・()		
6	使用設備名			
7	使用方法	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(1) カーテン方式用</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(2) エレベータ方式用</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(3) キャリア方式用</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>(4) ケーブルチェーン方式用 (25心以上) 含め</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(5) リール巻(拾い巻)方式</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(6) 垂直リール巻方式</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(7) 捻回(旋回)方式</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>(8) バスケット(スプレッダ)方式</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(9) ダンサロール方式</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(10) ペンダント(吊り下げ)方式</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">(*その他:)</p>		
	8	詳細情報		
	9	(1) 屈曲半径 _____ mm	(2) 張力 _____ N (kg)	(3) 移動距離 _____ m
		(4) 移動速度 _____ m/分	(5) 繰返し頻度 _____ 回/日	
	10	新規設備用、張替用 (*張り替えの場合、既設ケーブルの仕様・メーカー等)	・新規	
			・張替	

技術資料